

## 国際交流・世界平和支援の場

### サッポロ・インターナショナル・ナイト

サッポロ・インターナショナル・ナイトは道内で勉学する外国人留学生と日本人青少年との相互理解、交流親善を目的として、昭和54年以降、北海道青少年科学文化財団により毎年開催されている。青少年のリーダーシップ育成機会の場ともなる活動である。

コロナ禍以前は、留学生と道内大学生を中心としたテーマ別グループディスカッション形式。札幌支部では、平成29年第40回開催から活動を支援している。参加した支部会員は、グループの事前会議でリーダー達へ実施内容や方法への助言や通訳などをするアドバイザーとしての活動支援。当日参加だけでも、国際交流への貢献もできた。更に、参加大学生リーダーによる支部例会開催(ミニ・ニュース188号)や会員への参加費支援で、大学女性協会の活動目標「国際交流・世界平和」に沿った活動をすすめてきた。

令和4年度は彬子女王殿下をお迎えしての第45回記念行事。コロナ禍の影響で、現在はレクチャー形式で、高校生を中心とした開催と変化している。日本人195人中、高校生129名(21校)は日常生活ではほとんど交流のない31か国37人の留学生から、各国の地域・文化・教育・高校生生活・日本との違いなどを学ぶことで、視野をひろげ、他国と同時に母国への関心や留学への意欲を高める国際交流推進への第一歩となった。

「国際協力と世界平和」・「青少年の国際交流」を身近で支援できるサッポロ・インターナショナル・ナイト。

会員による参加の輪が増えることを願う。(堀内満智子 記)



上記写真は記録集 p.18 掲載分。読売新聞「皇室点描」(1/29)にも掲載記事あり。